土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	二級河川賀茂川水系　賀茂川支川5　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Boring No.4	調査位置	測線No.0＋8.65、R-2.8m	北緯	34° 23’ 25.3789″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 1月27日～ 令和3年 1月28日	東経	132° 49’ 49.0321″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 188.75m	角度	180°（上）、90°、0°（下）、0°	方向	北 0°、90°（東）、180°（南）、270°（西）
地盤勾配	0°（水平）、0°（鉛直）、90°	使用機種		試錐機	YSO-IH
総削孔長	7.00m	エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	YBM-GP-5

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	深度—N値図	N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1				礫混じり砂		暗褐	rd3		GL-0.40mまで木根を含む耕土 中～粗砂の砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～30%混入する GL-0.50m付近に径10cm程度の玉石を混入する	1/29 L.84	0 10 20 30 40 50 60	16	1.15 1.45	3	5	8	16/300							1/27
2	186.75	2.00		礫混じり砂		淡褐							2.15 2.45	8	8	11	27/300							
3				玉石混じり砂礫		暗褐灰	rd3 rd4		径10～30cmの玉石を混在する 径7cm以下の礫を50～70%混入する 砂は粗砂を主体とする 部分的に礫の混入が減少し礫混じり砂状を呈す			27	3.15 3.45	15	10	19	44/300							
4	184.75	4.00		花崗岩		淡青灰			CM級岩盤 L＝5～15cmの短柱状～柱状コアで採取する コアは比較的に滑らか 亀裂間は土砂化～細礫化する 部分的に亀裂が発達し径3cm以下の岩片状～礫状コアとなる GL-4.80m及びGL-6.20m付近は土砂化～細礫化する			44													
5																								
6																								
7	181.75	7.00																						1/28
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								